



# 21世紀文明研究セミナー

あの日1.17に芽吹き、いま咲き初める新しい知の花園へ

財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構の研究結果やHAT神戸に集積する国際関係機関等、知的ネットワークの総力を地域へ還元するため、当研究機構の骨太の研究テーマとともに、多文化共生や防災支援、保健・医療、地球環境などの平和の技術に関して、主として、高度で専門的な知識を求め一般県民を対象にした「21世紀文明研究セミナー」を開催します。

同一コースの3分の2以上の講座を受講された方には、修了証を交付いたします。

後期講座:12月～2月 ※講義時間 A 15:30～17:00 B 18:30～20:00

## 後期 Hem21 研究公開講座

※講義時間 A 15:30～17:00

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構では、近代文明のもつ二つの基本課題を中心に調査研究を行っています。科学技術文明が生んだ近代都市の持つ脆弱性の克服という「安全・安心なまちづくり」と、近代文明の基本的な考え方である個人中心主義の欠陥の是正という「共生社会の実現」です。昨年度は、各研究所・研究部・センターの長が抱負を交え研究の方向性を講義しましたが、今年度は、それぞれの研究員を中心に進行役(藤岡由佳氏:キャスター)も配して、第1回目の講座では20世紀文明全般の課題を発表し、その後の3回の講座は「安全・安心なまちづくり」に関して、また、後半の4回の講座は「共生社会の実現」に関して、各研究内容・成果をわかりやすく講義します。

12月19日(水)	村上 友章 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構主任研究員、大阪市立大学文学部非常勤講師) 高松 淳也 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究員、神戸大学大学院法学研究科博士後期課程)	テーマ 21世紀文明を考える
1月16日(水)	山崎 亮 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所主任研究員、(株)studio-L代表取締役) 石田 祐 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所研究員) 入江 寿大 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所研究員、京都大学大学院法学研究科博士課程)	テーマ 安全安心研究の現在(いま)
1月23日(水)	越山 健治 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター研究主幹)	テーマ 災害後の都市と住宅の復興のに向けた研究
1月30日(水)	加藤 寛 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構こころのケアセンター副センター長兼研究部長)	テーマ 災害とこころのケア
2月6日(水)	山本 匡毅 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構地域政策研究所主任研究員)	テーマ 自立型地域社会の構築に向けたコミュニティ政策のあり方
2月13日(水)	村上 寿来 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構長寿社会政策研究所主任研究員)	テーマ 人口減少社会における世代間分担のあり方、高齢社会の将来展望
2月20日(水)	二階堂 裕子 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構少子・家庭政策研究所主任研究員、大阪市立大学文学部非常勤講師)	テーマ 新しい父親の役割を考える
2月27日(水)	竹沢 泰子 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究部主任研究員、京都大学人文科学研究所教授)	テーマ 多文化共生社会の実現に向けて

## 後期 平和の技術(多文化共生社会) 共催:神戸大学国際文化学研究所 真文化研究交流センター ※講義時間 A 15:30～17:00

本コース「多文化共生社会」では、現代社会における重要な課題のひとつである「多文化共生」の問題について、その現状と問題点を把握し、わたしたちの日常の社会生活、地域社会、企業活動など身近な問題として考えていくことを目的とします。多文化共生の問題は、いわば今日の世界における「未完のプロジェクト」であり、阪神・淡路大震災を契機に、多文化共生の問題について積極的に取り組んできた神戸という場所から考える事は大きな意義があります。また、グローバル化が進展する現代の世界において、人の移動にともなう文化の摩擦と葛藤は、多くの社会の共通の課題であり、日本社会の問題というだけでなく、広い国際的視野が求められる課題です。講義の中では、多文化共生の現状と問題点を概観し、コリアン、フィリピン、チャイニーズなどの具体的な事例を取り上げ、日本における多文化の状況の現状について考えます。その上で、また、多文化共生問題についてさまざまな議論が積み重ねられてきたカナダ、オーストラリア、アメリカ合衆国、ヨーロッパの現状と問題点との比較検討を試み、今後の課題について考えていきたいと思います。

12月11日(火)	岡田 浩樹 (神戸大学大学院 国際文化研究科 教授(東アジア研究・文化人類学))	テーマ 日本社会における多文化共生の現状と問題
12月18日(火)	二階堂 裕子 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構少子家庭政策研究所主任研究員、大阪市立大学文学部非常勤講師)	テーマ 日本社会の多文化化と在日コリアンの現在
12月25日(火)	徐 小潔 (神戸華僑歴史博物館研究員)	テーマ 子どもたちにとっての多文化共生
1月8日(火)	野津 隆志 (兵庫県立大学 経済学部 教授(教育学))	テーマ 在日外国人支援と多文化共生ネットワーク
1月15日(火)	首藤 明和 (兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授(比較社会学))	テーマ カナダの多文化主義と中国系移民
1月22日(火)	高畑 幸 (広島国際学院大学 現代社会学部 准教授(社会学))	テーマ 在日フィリピン人のコミュニティと現状
1月29日(火)	鈴木 清史 (帝塚山学院大学 文学部 教授(文化人類学))	テーマ オーストラリアの多文化主義とアボリジニー
2月5日(火)	坂井 一成 (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(国際関係論))	テーマ 多文化共生を促すヨーロッパの国際的取組み
2月12日(火)	坂井 一成 (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(国際関係論))	テーマ 変容するヨーロッパ民主主義と多文化共生に向けての課題
2月19日(火)	安岡 正晴 (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(アメリカ政治論))	テーマ 多文化社会アメリカの理念と実像(1)ー人種・民族差別撤廃の戦いー
2月26日(火)	安岡 正晴 (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(アメリカ政治論))	テーマ 多文化社会アメリカの理念と実像(2)ー社会的少数派の権利と共生の模索ー

## 後期 平和の技術(保健・医療) 共催:WHO健康開発総合研究センター(WHO神戸センター) 財団法人 先端医療振興財団 ※講義時間 B 18:30～20:00

保健医療の動向:グローバル化のなかの公衆衛生・予防医学など個人や集団を取り巻く様々な取り組み、そして医療の未来像 目的:グローバル化が進むなか、様々な健康に関わる公衆衛生問題が取り上げられてきています。健康増進に関わるこれらいくつかの問題を取り上げることで、健康問題に取り組む国際的また地域医療における活動を紹介します。また、先端医療の発展と可能性について未来を展望する。

12月4日(火)	岩尾 総一郎 (WHO神戸センター 所長)	テーマ グローバルな視点から見た公衆衛生
12月11日(火)	ジュスタシオ・ラピタン (WHO神戸センター 都市化と健康危機管理プログラム)	テーマ 鳥インフルエンザ等の感染症対策に関するWHOの取り組み

12月18日(火)	森口 育子 (兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授)	テーマ 国際看護と地域看護の公衆衛生分野における貢献、展望
1月8日(火)	小澤 修一 (兵庫県災害医療センター長)	テーマ 災害医療
1月15日(火)	梶原 苗美 (神戸女子大学家政学部教授)	テーマ 健康増進のアプローチ(1):食生活と健康
1月22日(火)	平井 みどり (神戸大学大学院医学研究科教授)	テーマ 健康増進のアプローチ(2):サプリメントと健康
1月29日(火)	藺 潤 (西宮市保健所長)	テーマ 健康増進のアプローチ(3):タバコと健康
2月5日(火)	阿岸 祐幸 (北海道大学名誉教授)	テーマ 健康増進のアプローチ(4):温泉医学と健康保養地
2月12日(火)	西川 伸一 (理化学研究所CDB副センター長)	テーマ 医療分野の未来(1):神戸クラスターの展望
2月19日(火)	馬場 俊輔 (先端医療振興財団先端医療センター主任研究員)	テーマ 医療分野の未来(2):口腔領域における再生医療
2月26日(火)	川真田 伸 (先端医療振興財団先端医療センター研究所専門役)	テーマ 医療分野の未来(3):循環器領域における再生医療

(ご参考) 2007年度 前期実施済

## 前期 平和の技術(防災支援) ※講義時間 B 18:30～20:00

阪神・淡路大震災の被災地である神戸の経験と教訓が日本や海外にどのように伝えられ、また生かされているのかについて学習するとともに、今後、神戸をはじめ西日本に大きな影響を与えると予想される東南海・南海地震についての理解を深める。

9月20日(木)	越山 健治 (人と防災未来センター 研究主幹)	テーマ 被災社会の様相 ～仮設住宅、復興公営住宅の暮らしを中心に～
9月27日(木)	紅谷 昇平 (人と防災未来センター 研究員)	テーマ 産業の復興、企業防災
10月4日(木)	原田 賢治 (人と防災未来センター 主任研究員)	テーマ 地震、津波の発生メカニズムとその対策
10月11日(木)	近藤 伸也 (人と防災未来センター 主任研究員)	テーマ 中山間地の防災対策
10月25日(木)	安富 信 (読売新聞大阪本社編集委員 人と防災未来センターリサーチフェロー)	テーマ 災害報道の現状と課題 ～災害時のマスメディアの果たす役割～
11月1日(木)	村井 雅清 (被災地NGO協同センター代表、補助者2名:神戸大学学生、神戸学院大学生)	テーマ 神戸発の被災地支援 ～能登半島地震被災地での取り組み～
11月8日(木)	近藤 民代 (人と防災未来センター 主任研究員)	テーマ アメリカの災害対応 ～ハリケーン・カトリナ災害を事例として～
11月15日(木)	照本 清峰 (人と防災未来センター 主任研究員)	テーマ 台湾集々地震からの復興 ～台湾の防災対策、復興対策～
11月22日(木)	平山 修久 (人と防災未来センター 主任研究員)	テーマ 研究者と実務者の協働で進める東南海・南海地震対策 ～大都市大震災被害軽減化プロジェクトの一例～
11月29日(木)	河田 恵昭 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター長)	テーマ 防災分野の国際貢献について